

# 隆信集

夏

二品法親王五十首

音羽川せぜのいはなみたまちりて

もゆる蛭もかげぞ涼しき

後白河院御とき、供花のついでに歌よませられしに、江辺の  
ほたる

そこぎよきたまえのみづにかげそへて

なほあらはすは蛭なりけり

西行上人伊勢百首中に

夕ぐねのつゆもちりそふくさまくら

いづれの玉かほたるなるらん

正治二年院百首

身をこがすよはのほたるのおもひにも

ちかづく秋はすすしからずや

「国歌大観」より